

(様式第2号)

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日: 令和8年6月29日

事業者名: 株式会社 丸朝製陶所

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み		関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	陶磁器製品の生地の成形では、再生原料を使った原料を使用し、工場内の温度を夏冬の温度を保つために断熱屋根を設置している。また、焼成炉については、炉内をファイバー化を行い熱効率をたかめ、エネルギーコストの削減に努めている。		⑦エネルギーをみんなに そしてクリーンに、⑨産業と技術革新の基盤をつくろう、⑧働きがいも経済成長も	令和4年と令和6年の比較では30%コスト削減、生産性効率は20%以上向上している。	指標	再生原料を使用した製品の製造を促進する。
					目標	2030年までに再生原料の使用率を現状の20%から50%に引き上げる。エネルギー効率を現状から20%削減、不良率を現状の85%から93%に向上させる。
社会	地元小学校等の工場見学を受入れ年に数回受入れを行っている。		④質の高い教育をみんなに、⑧働きがいも経済成長も、⑨産業と技術革新の基盤をつくろう	令和6年度4校受入	指標	地元小学校の体験なども含め受入れを実施する。
					目標	令和10年度までに令和6年度比で、6校受入増
経済	生産の自動化、IoT化やデジタルによる見える化、標準化で働きやすい環境の整備、燃料効率を高め再生原料の使用など環境に配慮した経営を行う。		⑦エネルギーをみんなに そしてクリーンに、⑧働きがいも経済成長も、⑨産業と技術革新の基盤をつくろう	平成29年度と令和2年度に焼成炉のファイバー化で燃料費の削減を図り25%削減した。IoT、DX化で作業工程のデジタル化で待ちによる作業時間効率が令和2年と令和6年の比較では80%削減、生産性効率は20%以上向上した。	指標	生産性の効率を高める。
					目標	令和6年比で20%の生産性の効率を向上を目指す。
ガバナンス	チェック					
	☒	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 ＜具体的な内容を記載＞ 担当部署に工程表の提示し、目標を達成する努力に努めている。				
	☒	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 SDGs宣言書をホームページにて掲載 URL : https://www.maruasa.jp/				